

平成 25 年伊豆大島土砂災害 復旧・復興状況住民説明会を開催しました！

3月30日(水)、開発総合センター2階大集会室において、『平成 25 年伊豆大島土砂災害 復旧・復興状況住民説明会』を開催しました。

復興計画を策定してからの取組について、町長からご説明するとともに、大島支庁から、東京都が行っている大金沢土砂災害対策事業の進捗について報告がありました。



▲説明会の様子

《町長の言葉》(抜粋)

あの土砂災害から2年5ヶ月が経過しました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

復興のスピードアップにより、一日も早い被災者の方の生活再建と安全な暮らしを創りたいと思っています。

平成27年度は「島の皆がこれからの将来にわたって、食べていける仕事創り」の一助になる、被災したエリアの土地利用も検討しました。

平成28年度を大島創生元年と位置づけ、町民の皆様と行政、関係機関が一丸となって復旧・復興の推進に取り組みます。ご協力をお願い致します。

復旧・復興事業全体の進捗

《復興の柱ごとの主要事業》

●復興の柱1 被災者生活再建支援

- ・大島町住宅再建支援補助金
- ・災害公営住宅の建設
- ・被災者生活支援連絡会による心身の見守り

●復興の柱2

地域基盤・インフラの復旧

- ・災害廃棄物処理
- ・御神火スカイライン等道路復旧事業
- ・町道の雨水排水整備

●復興の柱3 産業・観光復興支援

- ・大島町中小企業再建支援補助
- ・大島町観光プール(仮称)整備事業
- ・アジア自転車競技選手権日本大会の開催

●復興の柱4

防災まちづくりの強化

- ・第三者調査委員会の設置
- ・避難計画の策定
- ・避難所施設の整備

復興計画策定からの取組みの概要

《平成26年度の取組み》

「被災者生活再建支援策の強化と、復興事業の実施に向けた準備」

- 平成26年9月「大島町復興計画」策定
- 復興計画前期(平成26~28年度)の目標
『被災者の意向を尊重し、被災者の状況に応じた生活再建のめどが立つこと』

《平成27年度の取組み》

「被災者生活再建支援の推進と、発展的復興に向けた検討」

- 平成27年度の目標
『復興のスピードアップ』

元町地区復興まちづくり計画と丸塚・神達エリアの土地利用

○大金沢流域隣接等町道整備

- ・平成 27 年度 用地取得に着手
- ・平成 28 年度以降、大金沢流路改修にあわせて順次着工



町道整備イメージ

○メモリアル公園整備事業

- ・平成 27 年度 基本設計、都市計画決定
- ・平成 28 年度 事業認可取得、実施設計、用地取得
- ・平成 29 年度 用地取得・整備工事
- ・平成 33 年度 開園予定

歩行者専用道路のイメージ



メモリアル公園基本計画平面図



○神達・丸塚エリアの土地利用の方向性

★「大島再生」事業として整備基本計画を策定予定

《文教・福祉ゾーン》

子どももお年寄りも安心して暮らせる生活環境の場所

《産業振興ゾーン》

観光を中心とした地域振興の拠点

○文教・福祉ゾーンの検討施設

- ・町立図書館、元町保育園、生涯学習、交流・ふれあいの場 等

○産業振興ゾーンの検討施設

- ・観光・産業振興施設 等
- ・民間企業の誘致も含めて検討

～東京都の土砂災害対策事業の進捗～

○大金沢左支川の短期対策工事（山腹工左支川、中流導流堤、下流導流堤）が進んでいます！

○大金沢流路の改修工事は平成 28 年度から着手します！

松原橋、元町橋、大金砂橋、丸塚橋もそれにともなって架替えを行います。

《第三者調査委員会の報告を受けて》

伊豆大島土砂災害の発災前後の対応について教訓を導き出すために設置した第三者調査委員会からは、発災当日の対応や事前対策等について大島町に提言をいただきました。

大島町はいただいた提言を真摯に受け止め、発災前後の体制整備や避難体制等について検討し防災対策に反映していきます。

●復興へのご意見をお聞かせください！

ニュースレターへのご質問、復興に向けたご意見、ご要望は下記にお寄せください。

《お問合せ先》大島町役場土砂災害復興推進室（開発総合センター1階 旧研修室）

TEL：2-1470

FAX：2-1555

E-Mail：fukkou@town.oshima.tokyo.jp